

全和師会 広 報	第 21 号	発行責任者一般社団法人 全和歌山県 鍼灸マッサージ師会 会長 宇須章生 和歌山県和歌山市太田49-1 小川コーポ 1F TEL 073-488-4577
-------------	--------------	---

一般社団法人に移行して！

一般社団法人
全和歌山県鍼灸マッサージ師会
副会長 金 崎 義 明

平成26年4月1日付で一般社団法人として認可されスタートした全和師会。昨年6月以降の宇須会長中心として鶴野総務部長、今年6月で退職した事務職員の岡村さん等に多大なる労苦と長時間に及ぶ資料の作成、提出再提出等々、宇須会長の再々に及ぶ行政との折衝、交渉に煩わせ、また会員の皆様のご協力も賜り、何とか一般社団の認可を得ることができました。

今までの社団法人とは異なりより以上の公益事業に重点が置かれます。従って会員一人一人にかかる負担も協力してもらう頻度も高くなります。例えば来年実施される紀ノ国和歌山国体の鍼灸マッサージのボランティア活動、これは平日休業し奉仕してもらう可能性も出てきます。

一般社団になると公益性も知名度も広く高くなるが、会員一人一人の力量と協力度、信頼度、本気度までが試される。

一般社団として襟を正し事業の遂行一つたがえず実施しようと努力を重ねているが、何分にも予算不足、緊縮財政、なかなか厳しい状況に変わりはない。会員総会でもお願いしましたが、会費値上げも、保険手数料の再値上げも極力避けたいところです。そこで会員の一人一人のご努力とご協力を賜り、適正な方法で適正な保険請求を増やして頂きたいところで御座います。

先日、7月5日、6日、2日間全鍼師会、協同組合主催、第一回協同組合研修会が開催され、私、金崎と目良理事の2名で参加させて頂きました。その研修会の中に演題として「療養費の取扱いについて」「無資格対策について行政との協議会報告」があった。

療養費の取扱いについては、各県ともに厳しい状況には変わり無いが、全鍼師会保険局長、往田氏の講演の中で全く真暗闇のトンネルの中に居るのではなく、今すぐに公表はできないが、厚労省との定期協議や政治連盟等の努力により、少しづつではあるが暗闇から光が差しかかりつつ有る。同意書が貰えない件についても「同意書を書いて貰え易く」全鍼師会保険局として、各県より同意書拒否の理由を集約し厚労省と折衝遠位努力を重ねるとのこと。

無資格対策についても全鍼師会無資格対策委員会と厚労省との定期協議会の会議録とその実績状況が発表された。全鍼師会保険局にしても、無資格対策委員会にしても曾て無い活動に感謝し、今以上の会員の為の成果を望みたいと願います。

全和師会の財政難を防ぐもう一つの手段は、会員増である。この件については、一昨年会員総会から折に触れ会員の皆様に訴えてきましたが、中々目覚ましい成果は出ていません。

会員が増えれば保険手数料も会費も増え、財政も潤い、全和師会事業が完璧に達成でき、会員も笑顔になる。ましてや前述のように成果を出している公益社団 全鍼師会に全和師会としての代議員を出し意見や物を云い、地方提出議案も出せる。

最後に、折角苦勞に苦勞を重ね、しんどい思いをし、一般社団の認可を受けたのだから、会を壊しては駄目もう一度全会員が力を合わせ一丸なって、一人一人が努力し会員増に結果を出し、財政難を克服し揺るぎないしっかりと根の張った全和師会の構築を望み、会員の異体同心と全和師会のさら成る発展を切望しまとめとしたい。

全和師会事務所からのお知らせ

退 職 事務職 岡村和代さんが平成26年6月9日付で退職されました。長年に渡りお疲れ様でした。

新事務職員自己紹介

本年6月9日より、勤務させて頂いております。福井紀子と申します。

不慣れな点が多く、また患者さんや先生方の重要な書類の取扱いも多く緊張しておりますが、一生懸命仕事を覚えていきたいと思っておりますので、ご指導の程、直しくお願い致します。

平成26年度会員総会開催される

一般社団法人
全和歌山県鍼灸マッサージ師会
総務部長 鶴野政男

平成26年6月1日(日)午後1時から和歌山ビッグ愛にて、全和師会会員総会が開催されました。総会員数59名に対し、出席会員数51名(委任者数21名含む)の出席により盛大に開催されました。全和歌山県鍼灸マッサージ師会は本年度より、一般社団法人 全和歌山県鍼灸マッサージ師会として認可を受けて活動していく旨の報告が会長よりなされました。

一般社団法人に向けて支部が廃止に成るなど組織が改編され、新たな組織として活動していく事になります。25年度事業報告、決算報告、監査報告が承認され、26年度事業計画、予算案が続いて承認されました。緊縮財政の為、今年度は、予算を大幅に削減し、役員報酬はほぼ半減、出張等の手当は約2割の削減、保険審査会は会長を無報酬にするなど大幅に削減する事としています。

予算は、会員各位の療養費申請の保険手数料が多くを占めていますので、療養費の支給申請額を増やしていくことが課題となって居ます。

その療養費については、宇須会長より全鍼師会保険局の担当が替わり、情報開示が成されるようになったこと、同意書の様式の統一については、厚労省のガイドラインにて、都道府県格差をなくして欲しいとの要望を出していく等の説明がありました。

中央情勢報告では、全鍼師会政治連盟については、一人1000円の寄付で160万円しか集まっていない。当会会員は全員寄付しているが、全国的には非常に少ない。政治力強化のためには、資金が必要なので個人がもっともっと寄付して頂くよう、全国的にお願いしたいと話されました。

組織強化については、金崎副会長より入会勧誘のダイレクトメールを出したり、知人に声掛け作戦等したが結果が出ていない。会員を増やしていきたいので、会員皆様も入会の勧誘をお願いしたい。療養費の個人請求が難しくなって来ているので、フランチャイズ展開している店の人に対しても、会員にすることを今後考えていきたい。

その他、会長より来年紀国わかやま国体が開催されるに伴い、国体関係の担当委員として、新全和師会会員能澤義和氏にお願いしたい旨説明があり、全会一致で了承された。

能澤氏より障害者国体が3日間に亘って和歌山、有田、田辺で開催されます。皆様の協力をお願いしたいと挨拶がありました。

保険取扱い手数料については、手数料の減少により、財政が逼迫している為、予算を全面的に見直したが、資金不足に陥る事のないよう手数料の再値上げを検討している。秋の理事会において上期の決算状況に応じて検討していく事が話されました。

会員総会后、6月29日全和師会執行部会議が開かれ、主な内容は次の通り。

紀国わかやま国体に全和師会として協力する為の組織を作ります。

国体準備室長 鶴野政男 国体実行委員長 南出勇樹 国体担当委員 能澤義和 計3名

8月のはり、きゅうの日キャンペーンを今年度は田辺市で開催。

8月10日 田辺駅周辺、商店街チラシ配布予定

9月7日(日)13時より全和師会学術研修会 和歌山ビッグ愛504号

10月19、20日 全鍼師会 第13回東洋療法推進大会 in 岡山

当広報で参加者募りますので、8月31日までに全和師会事務所までお申込み下さい。

参加者多数の場合は、負担金を参加人数で按分致します。

組織強化について

会員60名から65名に増やしたいと考えています。

入会促進の為に入会金等の金銭的負担を減免することも考えていますので、入会希望者がいる場合は、事務所にお問い合わせ下さい。

学術研修会参加のご案内

第13回東洋療法推進大会 in 岡山

大会テーマ 「東洋療法と癒しの心 ～世界に広げたい日本の鍼灸マッサージ～」

会期 平成26年10月19日(日) 12:00
平成26年10月20日(月) 13:00

会場 ホテルグランウヰア岡山 岡山駅前越前1-5 TEL 086-234-7000

主催 公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会

共催 一般社団法人 岡山県鍼灸マッサージ師会

その他、参加費等詳細については、月刊「東洋療法」243号参照の上、
研修会参加希望者は8月31日までに全和師会事務所まで電話にてお申込み下さい。
一部助成有り。

* 尚、バックツアー等で参加ご希望の方は8月15日までに全和師会事務所までご相談下さい。

全和師会学術研修会開催のご案内

主催 一般社団法人 全和歌山県鍼灸マッサージ師会 学術部

日時 平成26年9月7日(日) 13:00～16:00

会場 和歌山ビッグ愛504号

講演1 「新たな鍼灸手技療法の試み」
講師 能澤 義和 氏(前和歌山県立盲学校教諭、全和師会会員)

講演2 検討中

* 学術向上の為、全会員のご参加を希望します。

時事川柳

- 自衛権 ばかり振り回し 味方なし
- 議員まで そっぽ向いてる 都計画
- 国産の うなぎ食べたし あなごかい
- 企業伸び 弱者ばかりが 置き去りに
- 泣け無しの 払った税金 消えて行く

編集後記

全和師会「広報」第21号は、ご覧の通り、昔のガリバン刷りを思い出す。質素な手作り「広報」と成りました。予算削減の場で、「広報」も洩れなく経費節減に努める運びとなりました。また、発行回数も年一回とし、紙面ページも削減、まことに勝手ながら当分の間、依頼記事掲載のみとさせていただきます。「広報」担当金崎

事務所お盆休みのお知らせ

8月13日～8月15日
お問い合わせ 平日10:00～16:00 土日祝日はお休み